

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(令和4年度)

事業実施主体名 (協議会名)	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見					
											作成年度	基準年度	目標年度	被害金額(万円)				被害面積(ha)							
														対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率			基準値	目標値	実績値	達成率	
涌谷町農作物有害鳥獣対策協議会	涌谷町	涌谷町内	R1	カラス	有害捕獲	カラス捕獲214羽				(1)有害捕獲研修等により、カラス・カルガモは一定数捕獲できている。タヌキ、ハクビシンの捕獲についても一定数捕獲している。	R1	H29	R3	カラス	65.6	59	50	236.364	0.83	0.75	1	-212.5	鳥獣改善策として予察の日数を増やしたが、捕獲従事者が減少しており、捕獲数が減少したこと、被害面積及び被害金額が増加した。捕獲従事者を確保するとともに、広報による住民理解の増進や地域ぐるみによる被害防除対策の推進に取り組む。 ハクビシン、タヌキ改善策として捕獲従事者の増員を目指しているところであるが、なり手がいない現状である。農村集落において小動物がねぐらとする空き家などの増加が、生息域の拡大や個体数の増加につながっている。目撃情報や農作物被害が増加している。箱罠による捕獲による被害防除のほか、空き家対策など総合的な視点での被害防除対策を講ずる必要がある。	有害捕獲については効果がでていないため、今後も続けていってほしい。有害捕獲の時期に関してはより効果のある日中を検討してほしい。また、涌谷町に関して、熊、鹿等の被害が出始めている。イノシシ被害も時間の問題。関係機関等と連携し、対策を講じていく必要がある。 (大崎地域自然保護員)	
				カルガモ		カルガモ捕獲51羽																			
			タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲42頭																				
			ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲28頭																				
			R2	カラス	有害捕獲	カラス捕獲262羽																			
				カルガモ	有害捕獲	カルガモ捕獲54羽																			
			タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲66頭																				
			ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲29頭																				
			R3	カラス	有害捕獲	カラス捕獲262羽																			
				カルガモ	有害捕獲	カルガモ捕獲54羽																			
			タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲92頭																				
			ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲29頭																				
			R4	カラス	有害捕獲	カラス捕獲195羽																			
				カルガモ	有害捕獲	カルガモ捕獲43羽																			
			タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲55頭																				
			ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲23頭																				
													合計	65.6	59	50	236.364	0.83	0.75	1	-212.5				

注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載すること。  
 2:事業効果は記載例を参考とし、獣種ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。  
 3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。  
 4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況を様式に具体的に記載し、添付すること。